

# キラリ通信



令和7年5月7日発行  
立川市立第七小学校  
校長 島村 雄次郎  
拠点校特別支援教室七小キラリ  
巡回校 第三小学校 第六小学校

風薫る5月、1年のうちでもっとも過ごしやすい季節になりました。日頃よりキラリの教育活動にご理解・ご協力いただきまして、ありがとうございます。

新しい環境にも少しづつ慣れ、進級して張り切っている姿に、子どもたちの成長を感じます。引き続き、在籍学級担任から子どもたちの教室での様子を聞きながら、学級とキラリで足並みを揃え、よりよい指導ができるようにしていきます。今後とも、よろしくお願ひします。

## 【7月の保護者学習会について】

個人面談や昨年度の保護者学習会で、「子どもの進路が心配。」「この先、受けられる支援について話を聞きたい。」など、お子さんの進路や将来についてのご相談を受けることがありました。悩みを解消できるヒントを少しでも掴んでいただけたらと考え、講師をお呼びした保護者学習会を実施します。

「小学校卒業後の進路」をテーマにご講演いただきますが、具体的な内容については、保護者の皆さんから質問やご要望等を受け付け、その結果をもとに決めていきたいと思います。つきましては、下のアンケート（QRコード）にアクセスしていただき、出欠席と、ご質問がありましたらご回答ください。

※講演内容へのご質問は当日の出欠席に関係なく、受け付けております。

【テーマ】 小学校卒業後の進路（外部の支援機関、就労を含め）



【日 時】 令和7年7月11日（金） 14:00～16:00

【場 所】 立川市立第七小学校 1階 会議室

【講 師】 株式会社 LITALICO ライフ コンサルタント 笠原 千尋 様

## ビジョントレーニングとは…



ビジョントレーニングとは、視覚機能（見る力）を高めるためのトレーニングです。トレーニングを続けて、視覚機能がアップすると、次のような7つの力が身に付きます。

- ① 書く（描く）力…文字や図形を正しく、形を整えて書（描）ける。マス目や行からはみ出さずに書ける。短い時間で板書を写すことができる。
- ② 読む力…文章を正しく、スムーズに読める。意味を正確に把握できる。
- ③ 作る力（手先の器用さ）…線の上をはさみで切ることができる。定規を使って正しく長さを測ったり、きれいに線を引いたりできる。
- ④ 運動する力…飛んでくるボールをキャッチしたり、バットで打ったりすることができる。先生のお手本どおりにダンスや体操ができる。
- ⑤ 集中力・注意力…授業の間、勉強や作業に集中できる。長い時間、読書を続けられる。整理整頓ができる。
- ⑥ 記憶力…数字や漢字を正しく覚えられる。探しものや忘れ物が減る。
- ⑦ イメージ力…ものとの距離感を理解して、スムーズにつかんだり、よけたりできる。



# 【キラリ 学習紹介 ~ビジョントレーニング~】

## キヨロキヨロ運動（追従性眼球運動・跳躍性眼球運動・両目のチームワーク）

片手に持ったペンを動かしながら、一緒に眼を動かすトレーニングです。円を描くように動かしたり、上下左右に動かしたりします。顔は動かさず、眼だけを動かすことがポイントです。ペンの代わりに、好きな人形などを使うと、より楽しくトレーニングすることができます。



## じゃんけん体操（視空間認知・眼と体のチームワーク）



グー・チョキ・パーの手のイラストが描かれたワークシートを見ながら、あいこの手、または勝つ手を出していくます。慣れてきたら、負ける手を出したり、手拍子やメトロノームに合わせてリズミカルに手を動かしたりなど、難易度を上げた練習ができます。

## 見る力をアップさせる習慣～日常生活でできること～

毎日の生活の中にも、見る力を高める方法はたくさんあります。眼を大きく動かしたり、眼で見たものに合わせて動いたりする機会を増やして、それを習慣にすれば、子どもの見る力は大きく変わります。見る力のために、日常生活にぜひ取り入れてほしい習慣をいくつかご紹介します。

### おうちのお手伝い

掃除・料理・洗濯物をたたむお手伝い…など、日常生活には、よく見ないとできないことがたくさんあります。「汚れやゴミを眼でとらえて、手を使って取り除く」「ご飯をよそう、配る」「タオルの角を合わせて畳む」…ほかにもたくさんあります。うまくいかなくても、できたところをほめて、子どものやる気を引き出すことが大切です。



### 親子で散歩

外に出て、遠くのものを見たり、建物や人、植物などに眼を向けたりと、眼を大きく動かすことは見る力の発達を助けます。散歩や買い物に出かけた際には、「お花屋さんの看板はどこにあるでしょう?」などと、クイズを出し、子どもに探してもらうと、より効果的です。

